

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 081	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名	多産系種豚と従来型の肉質重視の種豚を活用した場合の市場での枝肉評価と収益性との関係について
要望問題の内容	【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】  従来、神奈川県は外食産業や観光宿泊産業も多いため高品質な豚肉の生産が、買参人や販売店から求めてきた経緯がある。 そうした中で、近年注目を集めている生産性の高い多産系種豚の活用は、高い繁殖能力と肉豚の発育性により効率的な肉豚生産出荷に繋がると言われている。しかしながらその枝肉評価が県内市場で高く評価されているとは言い難く、裏を返せば買参人や販売店の求める品質に達していないことが伺える。 今後、都市型畜産である神奈川県の養豚経営が継続し、産業として生き残る為の方向性として、多産系種豚の1母豚あたりの生産性と品質（肉質）、収益性についての比較研究をお願いしたい。
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター      ③水産技術センター      ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施   ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済   ⑤調査指導対応   ⑥現地対応   ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 多産系母豚の飼育管理技術の確立（試験研究成績書令和2年度）		
対応の内容等	当所において実施した多産系種豚の繁殖性調査及び肉豚調査により、多産系1母豚あたりの繁殖成績や産子の発育成績といった生産性については、一定の知見が得られています。また、薄脂が懸念される多産系母豚においても、種雄豚の選択により県内生産者が好む厚脂タイプの肉豚や脂肪交雑の入る肉豚を生産できることが示されています。 また、系統豚を利用した改良型種豚の開発において、繁殖能力の高い種豚の能力を維持したランドレース種を活用した改良型種豚の能力について調査しています。現在、LWについて繁殖能力や産子であるLWDの発育調査も行っていますが、この中で肉質調査の実施についても検討してまいります。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			